

としょかん
じょうずな図書館のつかいかた



ひらいているじかん ごぜん^じ9時^{ぶん}30分からごご^じ6時

おやすみのひ まいしゅう^{げつ}月^びよう日^{げつ}、月^びまつせい^びり日^び、

しゆくじつ^びのよくじつ、ねんまつねんし、とくべつせい^びり日^び

とりでとしょかん
取手図書館 (74)8361

としょかん
ふじしろ図書館 (70)8181

も く じ

これでキミも ^{としょかん} 図書館の達人（たつじん）だ	P1~2
^{としょかん} 図書館の本の ^{ほん} ならべ ^{がた} 方のきまり	P3~4
^{としょかん} 図書館 Q&A	P5~6

これでキミも図書館の達人(たつじん)だ

★利用カードをもっていこう

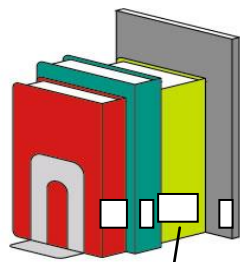
利用カードがあれば本とざっしあわせて12さつ(うちざっし5さつまで)

2しゅうかんかりられる。図書館に行くときはわすれずにもっていこう。

一枚のカードで市内の他の図書館やこうみんかん図書室で本をかり

たり、かえしたりすることもできるぞ。(一部の図書室をのぞく)

利用カードをつくったことがない人、なくした人は、図書館のカウンターで
もうしこもう。



本のないようを数字で表す

★本はないようでわかれて並んでいるよ

図書館の本は『ぶんるいひょう』のきまりにしたがって、
それぞれ背なかにばんごうがついている。このばんごう
を、『せいきゅうきごう』つてよぶんだ。

本はこの『せいきゅうきごう』のばんごうじゅんになら
んでいるんだ。

★本をさがしてみよう

○本のさがしかた その①

本の名まえや書いた人の名まえがわかっている時は、コンピュータけんさくきがべんりだ。ど
の本だなにがあるか、またその本が他の図書館やこうみんかん図書室にあったばあい、どこにあ
るか、かだしされている本かなど、さがしている本について、いろいろなことがわかるよ。

また家でインターネットをやっている人は、図書館のホームページからおなじことができるよ。

○本のさがしかた その②

あることがらについて調べたい時は、ぶんるいひょうでどのぶんるいが
つかえそうかさかがしてみる。みつかったらそのぶんるいの本だなにいつて
みよう。しよめいだけでぴったりくるものはなかなかないもの…。

そんな時は、本を手にとりて開いてみよう。本のさいしよにのつて
いるもくじやさいごにのつているさくいんもけっこうつかええるぞ。

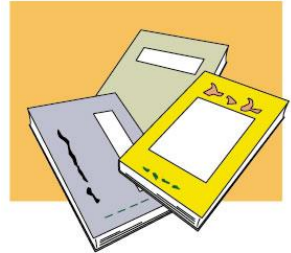


○ 本のさがしかた その③

困った時はひやか^{こま}かじて^{どき}んもやくにたつ。いろいろなことが調^{しら}べられるぞ。
どんな本^{ほん}があるか知り^したいときは「本^{ほん}を調^{しら}べるための本^{ほん}」もおすす^とめ。図書館^{としょかん}にある
『どの本^{ほん}で調^{しら}べるか』や『本^{ほん}の本^{ほん}』を使^{つか}ってみよう。

○ 本のさがしかた その④

どうしてもみつからない時^{とき}は、図書館^{としょかん}の人^{ひと}にきいてみよう！
ていねいにおしえてくれるよ。



○ 達人技

調^{しら}べたいことがみつかったら、どの本^{ほん}で調^{しら}べたかきろく
をのこしておこう。(本^{ほん}の名^なまえ、書^かいた人^{じん}の名^なまえ、本^{ほん}を出^だした会社^{がいしゃ}の名^なまえ)
きっとあとでやくにたつはず。

★本のよやくができるよ



今^{いま}か^{ちゆう}し^{ほん}だ^{ほか}し^{としょかん}中^{としよしつ}の本^{ほん}や、他^ほの^と図書館^{としょかん}・図書室^{としよしつ}にある本^{ほん}は、
よやくをすることができ^る。
カウンタ^ーでよやくカ^ード^にきにゆうしてもうしこ^もう。
か^しだ^しで^きるよ^うにな^ったら、れ^んら^くす^るよ。

★ひつようなページはコピーができるよ

図書館^{としょかん}には、いつでも多^{おほ}くの^{ひと}に^りよう^して^もら^えるよ^うに、か^りら^れな^い本^{ほん}(^{きん}たい^いし^{ゆつ}
^{ぼん})がある。

図書館^{としょかん}の本^{ほん}にか^ぎり^こピー^ができ^るので、ひ^つよ^うな^ときは^カウンタ^ーに^もう^しこ^もう。(1枚^{まい}
10円^{えん})



★図書館のマナーを守ろう！

本^{ほん}は^{たい}せ^つによ^もう。か^りた^{ほん}の本^{ほん}の^{へん}き^{やく}き^{げん}を
ま^もろ^う。

使^{つか}い^おわ^つた^{ほん}本^{ほん}は^もと^のば^しよ^にも^どそ^う。

図書館^{としょかん}の中^{なか}では、の^んだ^りた^べた^りし^ない。

他^{ほか}の^{ひと}人^{ひと}の^{めい}わ^くに^なら^ないよ^うに^きを^つけ^よう。

としょかん ほん かた 図書館の本のならべ方のきまり

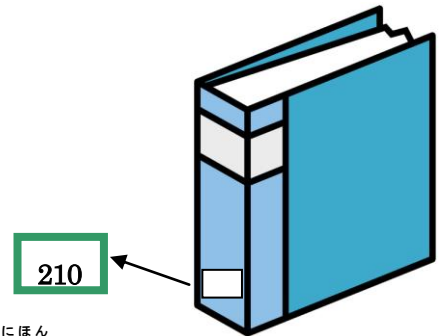
「これでキミも図書館の達人だ」で ほん はないようでわかれてならんでいるって

せつめいしたんだけど、ここではもう少しわしくせつめいするね。このきまりを

し 知っていれば本をさがす時 ^{ほん} にかならずやくにたつはず。

① ^{ほん} 本の背なかの ^せ ばんごう(せいきゅうきごう)は本の ^{ほん} **じゅうしょ**だよ！

^{ほん} 本のおかれる **ばしょ**がこのばんごうで ^{ほん} できるんだ。



にほん 日本のはきし

② ^{ほん} 本の ^{かた} ならべ方

せいきゅうきごう ^{じゆん} 順に

- ・ ^{ひだり} 左から ^{みぎ} 右へ
- ・ ^{うえ} 上から ^{した} 下へ



とならべているんだ。

※せいきゅうきごうのおなじものが ^{ちい} 小さい ^{すうじ} 数字から ^{おお} 大きい ^{すうじ} 数字の ^{じゆん} 順に
ならんでいるよ。

③本のぶんるい

- 本のないようで、おなじようなテーマの本をひとまとめにしているよ。
- どこにもわけられないテーマを「0」として、全部あわせて10この「類」(なかま)にわけているんだ。
- おなじテーマでもテーマのとりかたによって別のぶんるいにわけているよ。

たとえば・・・

「カブトムシのずかんをみたい」

こたえ 「4のたなの486ばん」(昆虫学)

「カブトムシのかいかたをしりたい」

こたえ 「6のたなの646ばん」(昆虫の飼育) となるんだ。



日本十進分類法(にほんじっしんぶんるいほう) → 図書館で使っているぶんるいほう

ぶんるい	ないよう	背ラベルばんごうの例
0	図書館、しらべる本、ねんかん	010(としょかん)
1	いきかた、かんがえかた	159(いきかた)
2	れきし、でんき、ちり	210(日本のれきし)
3	しゃかい、くらし、みんぞく、しゅうかん	310(せいじ)
4	さんすう、りか、いきもの、しょくぶつ、からだ	486(こんちゅうがく)
5	きかい、のりもの、かていか	596(りょうり)
6	さんぎょう、えんげい、しいく、こうつう、ほうそう	646(こんちゅうのしいく)
7	おんがく、ずがこうさく、たいいく	760(おんがく)
8	ことば、さくぶん	810(にほんご)
9	どうわ、ものがたり	913(日本のものがたり)